

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 20 日 (2014.2.20)

【公開番号】特開 2012-141399 (P2012-141399A)

【公開日】平成 24 年 7 月 26 日 (2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2012-029

【出願番号】特願 2010-293016 (P2010-293016)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 1 0

G 0 3 G 21/00 3 7 2

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 6 日 (2014.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー像を熱によって記録材に定着する定着部を備えた画像形成装置であって、
搬送されている記録材の先端が接触する接触部を備え、記録材の先端に押されることで
待機位置から所定の第 1 の回転方向に回動するレバーと、

前記待機位置に位置するように前記レバーを付勢する付勢手段であって、記録材の後端
が前記レバーを通過した後に前記待機位置へ向けて前記第 1 回転方向と反対の第 2 回転方
向に回転させる付勢力を前記レバーに与える付勢手段と、

前記レバーの位置に応じた信号を出力する検知センサと、を有し、

搬送されている記録材に押されることで前記レバーが回転したときに、前記第 1 の回転
方向への前記レバーの回転を規制するように、前記レバーを回転させた記録材と当接する
当接部を前記レバーが備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記接触部とは前記レバーの回動軸を介して反対側に、前記当接部が形成されているこ
とを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記第 1 の回転方向への前記レバーの回転に伴って記録材が搬送される搬送路内へ前記
レバーの当接部が突出することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記定着部はニップ部でシートを挟持して搬送し、前記レバーは前記ニップ部よりも上
流においてシートと接するように配置され、

前記検知センサからの信号に基づいて残留シートがあるかどうかを判断する制御部を備
えることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記定着部のニップ部は、一对の回転ベルトによって形成されていることを特徴とする
請求項 4 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本願発明は、トトナー像を熱によって記録材に定着する定着部を備えた画像形成装置であって、搬送されている記録材の先端が接触する接触部を備え、記録材の先端に押されることで待機位置から所定の第1の回転方向に回動するレバーと、前記待機位置に位置するように前記レバーを付勢する付勢手段であって、記録材の後端が前記レバーを通過した後、前記待機位置へ向けて前記第1回転方向と反対の第2回転方向に回転させる付勢力を前記レバーに与える付勢手段と、前記レバーの位置に応じた信号を出力する検知センサと、を有し、搬送されている記録材に押されることで前記レバーが回転したときに、前記第1の回転方向への前記レバーの回転を規制するように、前記レバーを回転させた記録材と当接する当接部を前記レバーが備えることを特徴とする。